

資料 No.	試験の種類 期間	供試生物	1群当りの 動物数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD <sub>50</sub> 又は 無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)
46 (GLP)	関連物質 (DP-1/ OM-1) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	300, 1,000, 2,000, 5,000	♂ 1,924 ♀ 1,414	三菱化学 安全科学 研究所 (1997)
47 (GLP)	関連物質 (CPOH) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	40, 80, 150, 300, 1,000, 2,000 5,000	♂ 97 ♀ 149	三菱化学 安全科学 研究所 (1997)
48 (GLP)	関連物質 (OM-2-OX) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	100, 300, 1,000, 2,000	♂ 932 ♀ 813	三菱化学 安全科学 研究所 (1997)
49 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀各5	経口	2,000, 3,000, 5,000	♂ >5,000 ♀ >5,000	BASF 毒性 研究所(1995)
50 (GLP)	関連物質 (DD) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	2,000	♂ >2,000 ♀ >2,000	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
51 (GLP)	関連物質 (DP-2/ OM-2) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	♂ : 750, 1,000, 1,250, 1,500 1,750 ♀ : 500, 750, 1,000, 1,250, 1,500	♂ 968 ♀ 769	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
52 (GLP)	関連物質 (DP-6/OCA) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	25, 50, 100, 200	♂ 50~100 ♀ 50~100	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
53 (GLP)	関連物質 (GP) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	2,000	♂ >2,000 ♀ >2,000	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
54 (GLP)	関連物質 (OH-GP) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	2,000	♂ >2,000 ♀ >2,000	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
55 (GLP)	関連物質 (FP) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	2,000	♂ >2,000 ♀ >2,000	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
56 (GLP)	関連物質 (6-OH-DP-2) 急性毒性 (14日間観察)	ラット	♂♀5	経口	1,000, 2,000	♂ >2,000 ♀ >2,000	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
57 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 亜急性毒性 (3ヶ月間 投与)	ラット	♂♀各10	飼料中混入	0, 300, 3,000, 5,000 ppm ♂ : 0, 19, 196, 322 ♀ : 0, 23, 228, 388	5,000 ppm ♂ : 322 ♀ : 388	BASF 毒性 研究所 (1997)

資料 No.	試験の種類 期間	供試生物	1群当りの 動物数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD <sub>50</sub> 又は 無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)
58 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 催奇形性 (妊娠6日から 15日目まで 10日間 投与)	ラット	♀25	経口	0, 20, 40, 120, 360	母動物: 120 胎児: 360 催奇形性 なし	BASF 毒性 研究所(1997)
59 (GLP)	関連物質 (OI-1-OX) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)	サチノ菌 TA98, TA100, TA1535, TA1537 大腸菌 WP2 uvrA		In vitro	7-ウィンクム-メソ法: 156~5,000 μg/l ート	陰性	日本油料 検定協会 (1997)
60 (GLP)	関連物質 (62OH-Z) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7-ウィンクム-メソ法: 313~5,000 μg/l ート	陰性	日本油料 検定協会 (1997)
61 (GLP)	関連物質 (CPOH) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7-ウィンクム-メソ法: 39~5,000 μg/l ート	陽性	日本油料 検定協会 (1997)
61-1 (GLP)	関連物質 (CPOH) 変異原性 染色体異常 (小核試験)	マウス	♂5	経口	0, 17.5, 35, 70	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1998)
62 (GLP)	関連物質 (OM-2-OX) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)	サチノ菌 TA98, TA100, TA1535, TA1537 大腸菌 WP2 uvrA		In vitro	7-ウィンクム-メソ法: 39~5,000 μg/l ート	陰性	日本油料 検定協会 (1997)
63 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	標準7-ート法, 7-ウィンクム-メソ法 共: 20~5,000 μg/l ート	陰性	BASF 毒性 研究所(1995)
64 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)	大腸菌 WP2 uvrA		In vitro	7-ウィンクム-メソ法: 313~5,000 μg/l ート	陰性	三菱化学 安全科学 研究所 (1997)
65 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 変異原性 染色体異常 (小核試験)	マウス	♂♀各5	腹腔内	0, 375, 750, 1,500	陰性	BASF 毒性 研究所 (1997)
66 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 変異原性 DNA 損傷 (UDS 試験)	ラット初 代培養肝 細胞		In vitro	0, 600, 1,200, 2,400, 3,600 μg/ml	弱い陽性	BASF 毒性 研究所 (1996)

資料 No.	試験の種類 期間	供試生物	1群当りの 動物数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD <sub>50</sub> 又は 無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	
67 (GLP)	関連物質 (5-OH-DP) 変異原性 DNA 損傷 (UDS 試験)	ラット	♂3	In vivo/ in vitro 経口	0, 1,000, 2,000	陰性	RCC (1997)	
68 (GLP)	関連物質 (DD) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)	カビ細菌 TA98, TA100, TA1535, TA1537		In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 313~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	
69 (GLP)	関連物質 (DP-1/ OM-1) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 313~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	
70 (GLP)	関連物質 (DP-2/ OM-2) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 156~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	
71 (GLP)	関連物質 (DP-6/OCA) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 156~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	
72 (GLP)	関連物質 (GP) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			大腸菌 WP2 uvrA	In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 313~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)
73 (GLP)	関連物質 (OH-GP) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 313~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	
74 (GLP)	関連物質 (FP) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 313~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	
75 (GLP)	関連物質 (6-OH-DP-2) 変異原性 復帰変異性 (Ames 試験)			In vitro	7 ヲンキユク-シヨウ法: 313~5,000 μg/l 卜	陰性	日本曹達(株) 小田原研究所 (1997)	

資料 No.	試験の種類	供試動物等	試験項目・試験方法等	試験結果の概要	試験機関 (報告年)
76	動物体内における代謝 (in-life 試験) (C-ラベル)	ラット	①低用量一回静脈内投与(A群) 120 時間尿、糞排泄率測定	尿：雄 78.38%、雌 77.75% 糞：雄 19.51%、雌 18.67% ケージ洗浄：雄 0.89%、雌 1.40% 体内残留：雄 0.73%、雌 0.63% 脱脂綿：雄 0.24%、雌 0.29% 総回収率：雄 99.74%、雌 98.73%	BASF 毒性研究所 (1993)
			②低用量一回経口投与(B-1群) 72 時間血中濃度測定	血中半減期(hr)：雄 4.40、雌 4.30 Tmax(hr)：雄 0.5、雌 1.0 Cmax( $\mu$ g/g)：雄 67.1、雌 78.6 AUC( $\mu$ g $\times$ 時間/g)： 雄 471、雌 589	
			③低用量一回経口投与(B-2群) 120 時間尿、糞排泄率測定 120 時間後組織内分布測定	尿：雄 79.25%、雌 81.75% 糞：雄 19.22%、雌 16.80% ケージ洗浄：雄 0.71%、雌 0.76% 体内残留：雄 1.13%、雌 1.61% 総回収率：雄 100.3%、雌 100.92%	
			④低用量一回経口投与(B-3群) 48 時間胆汁排泄率測定	胆汁排泄率： 雄 37.11%、雌 55.42%	
			⑤低用量一回経口投与(B-4群) 経時的組織内分布測定	0.75、4、10、14 時間後に採取各々の時間で血漿濃度より高い濃度であった臓器/組織は以下のとおり 0.75hr：胃及び胃内容物、 4hr：胃及び胃内容物、腸及び腸内容物 10hr：腸及び腸内容物 14hr：腎臓、腸及び腸内容物	
			⑥低用量連続経口投与(C群) 120 時間尿、糞排泄率測定 120 時間後組織内分布測定	尿：雄 75.93%、雌 79.13% 糞：雄 18.80%、雌 16.12% ケージ洗浄：雄 0.65%、雌 0.98% 体内残留：雄 0.85%、雌 0.75% 総回収率：雄 96.23%、雌 96.97%	
			⑦高用量一回経口投与(D-1群) 72 時間血中濃度測定	血中半減期(hr)：雄 10.44、雌 9.64 Tmax(hr)：雄 1.0、雌 1.0 Cmax( $\mu$ g/g)：雄 306、雌 389 AUC( $\mu$ g $\times$ 時間/g)： 雄 5890、雌 5700	

資料 No.	試験の種類	供試動物等	試験項目・試験方法等	試験結果の概要	試験機関 (報告年)
76 (続き)	動物体内における代謝 (in-life試験) (C-ラベル)	ラット	⑧高用量一回経口投与(D-2群) 120時間尿、糞排泄率測定 120時間後組織内分布測定	尿：雄 67.11%、雌 73.88% 糞：雄 23.70%、雌 19.18% ケージ洗浄：雄 0.53%、雌 0.85% 体内残留：雄 2.36%、雌 1.44% 総回収率：雄 93.70%、雌 95.35%	BASF 毒性研究所 (1993)
			⑨高用量一回経口投与(D-3群) 48時間胆汁排泄率測定	胆汁排泄率： 雄 56.02%、雌 35.57%	
			⑩高用量一回経口投与(DX群)	(代謝物分析用)	
77	動物体内における代謝 (in-life試験) (C-ラベル)	ラット	高用量一回経口投与(D-4群) 経時的組織内分布測定	雄：1、21、35、43時間後、雌：1、12、22、34時間後に採取 各々の時間で比較的高い濃度であった臓器/組織は以下のとおり 1hr：胃及び胃内容物、腸内容物 21/12 hr：甲状腺、胃及び胃内容物、腸内容物 35/22 hr：卵巣、子宮、脂肪、胃内容物、腸及び腸内容物 43/34 hr：卵巣、子宮、脂肪	BASF 毒性研究所 (1996)
78	動物体内における代謝 (代謝物同定試験) (C-ラベル)	ラット	資料 No.76 で得られた尿、糞、胆汁、血漿、肝臓、腎臓を用いて代謝物を分析	1) 尿で認められた主たる代謝物：親、DL、DL-1、DL-2、2-OH-P-DP、Glc-DP 2) 糞で認められた主たる代謝物：親、DL、2-OH-P-DP、DD、DP-2、DL-2、2-OH-P-DP-2、Glc-DP、GP、GL、DD-2	BASF 研究所 (1997)
79	動物体内における代謝 (P-ラベル)	ラット	①低用量一回経口投与(B-2群) 120時間尿、糞排泄率測定 120時間後組織内分布測定	尿：雄 74.01%、雌 76.68% 糞：雄 20.75%、雌 18.81% ケージ洗浄：測定せず 体内残留：雄 0.91%、雌 0.68% 総回収率：雄 95.66%、雌 96.16%	BASF 毒性研究所 (1996)
			②高用量一回経口投与(D-2群) 120時間尿、糞排泄率測定 120時間後組織内分布測定	尿：雄 75.07%、雌 77.11% 糞：雄 24.84%、雌 20.16% ケージ洗浄：雄 0.83%、雌 1.38% 体内残留：雄 0.69%、雌 0.74% 総回収率：雄 101.46%、雌 99.45%	

資料 No.	試験の種類	供試動物等	試験項目・試験方法等	試験結果の概要	試験機関 (報告年)
80	植物中主代謝物 5-OH-DP の動物体内における代謝 (in-life 試験) (C-ラベル)	ラット	① 低用量一回静脈内投与(A群) 120 時間尿、糞排泄率測定	尿：雄 80.80%、雌 82.40% 糞：雄 10.32%、雌 10.36% ケージ洗浄：雄 0.86%、雌 1.41% 体内残留：雄 0.55%、雌 0.65% 脱脂綿：雄 0.74%、雌 1.17% 総回収率：雄 93.27%、雌 95.96%	BASF 毒性研究所 (1996年)
			② 低用量一回経口投与(B-1群) 72 時間血中濃度測定	血中半減期(hr)：雄 4.2、雌 3.8 Tmax(hr)：雄 2.0、雌 0.5 Cmax(μg/g)：雄 30.5、雌 37.4 AUC(μg×時間/g)： 雄 314、雌 229	
			③ 低用量一回経口投与(B-2群) 120 時間尿、糞排泄率測定 120 時間後組織内分布測定	尿：雄 66.14%、雌 68.14% 糞：雄 29.20%、雌 26.55% ケージ洗浄：雄 1.10%、雌 1.48% 体内残留：雄 0.33%、雌 0.31% 総回収率：雄 96.77%、雌 96.49%	
			④ 低用量一回経口投与(B-3群) 48 時間胆汁排泄率測定	胆汁排泄率： 雄 20.05%、雌 21.52%	
			⑤ 低用量一回経口投与(B-4群) 経時的組織内分布測定	雄は 0.5、9.5、12、19 時間後、雌は 0.5、5、8、12 時間後に採取 各々の時間で血漿濃度より高い濃度であった臓器/組織は以下のとおり 0.5hr：甲状腺、胃及び胃内容物、腸及び腸内容物 9.5/5hr：甲状腺、副腎、胃及び胃内容物、腸及び腸内容物 12/8hr：甲状腺、胃、腸及び腸内容物、肝臓 19/12hr：甲状腺、腎臓、副腎、甲状腺、胃及び胃内容物、腸及び腸内容物、肝臓	
			⑥ 低用量連続経口投与(C群) 120 時間尿、糞排泄率測定 120 時間後組織内分布測定	尿：雄 70.63%、雌 72.84% 糞：雄 22.36%、雌 25.36% ケージ洗浄：雄 0.97%、雌 1.47% 体内残留：雄 0.34%、雌 0.29% 総回収率：雄 94.30%、雌 99.97%	
			⑦ 高用量一回経口投与(D-1群) 72 時間血中濃度測定	血中半減期(hr)：雄 3.1、雌 3.0 Tmax(hr)：雄 1.0、雌 1.0 Cmax(μg/g)：雄 449.6、雌 536.4 AUC(μg×時間/g)： 雄 5272、雌 4820	

資料 No.	試験の種類	供試動物植物等	試験項目・試験方法等	試験結果の概要	試験機関 (報告年)
80 (続き)	植物中主代謝物 5-OH-DP の動物体内における代謝 (in-life 試験) (C-ラベル)	ラット	⑧ 高用量一回経口投与(D-2群) 120 時間尿、糞排泄率測定 120 時間後組織内分布測定	尿：雄 74.02%、雌 76.33% 糞：雄 18.79%、雌 17.73% ケージ洗浄：雄 1.33%、雌 1.61% 体内残留：雄 0.23%、雌 0.26% 総回収率：雄 94.39%、雌 95.94%	BASF 毒性研究所 (1996 年)
			⑨ 高用量一回経口投与(D-3群) 胆汁排泄率測定	胆汁排泄率： 雄 26.31%、雌 21.54%	
			⑩ 高用量一回経口投与(D-4群) 経時的組織内分布測定	雄は 1、12、18、22 時間後、雌は 1、9、11.5、17 時間後に採取各々の時間で血漿濃度より高い濃度であった臓器/組織は以下のとおり 1hr：甲状腺、胃及び胃内容物、腸 12/9hr：胃及び胃内容物、腸及び腸内容物 18/11.5hr：甲状腺、胃及び胃内容物、肺、腸及び腸内容物 22/17hr：胃、肺、心臓、腎臓、卵巣/子宮、甲状腺、胃及び胃内容物、腸及び腸内容物	
81	植物中主代謝物 5-OH-DP の動物体内における代謝 (代謝物同定試験) (C-ラベル)	ラット	資料 No.80 で得られた尿、糞、胆汁、血漿、肝臓、腎臓を用いて代謝物を分析	1)尿で認められた主たる代謝物：5-OH-DP、5-OH-DP-1、6-OH-DP-2 2)糞で認められた主たる代謝物：5-OH-DP、5-OH-DP-1、6-OH-DP-2	BASF 研究所 (1997 年)
82	植物体内における代謝 (in-life 試験) (C-ラベル)	ダイズ	20%乳剤 1600 倍希釈液相当を、800 l/ha の割合 (100g ai/ha 相当)で、播種後 51 日後に散布 処理後経時的に採取	各時点での TRR(親換算 mg/kg) 0 日後青刈り：2.292 7 日後青刈り：2.259 15 日後青刈り：1.743 30 日後青刈り：1.337 60 日後葉：7.819 60 日後茎：0.138 60 日後さや：0.536 60 日後豆：0.480 60 日後根：0.019	BASF 研究所 (1993 年)